

## JCTIC (マレーシア：コタキナバル)

青島岑郎 (東京都目黒区)

**滞在期間**：2011年1月28日～3月28日 (61日)

マレーシア (略称 MA)。アジア大陸の南端に伸びたマレー半島 (西 MA) と海を隔てて浮かぶ世界で3番目に大きな島、ボルネオ島 (東 MA) が連邦マレーシアです。コタキナバル (KK) はボルネオ島、サバ州の首都で人口約50万、この地区最大の都市です。MAは通年高温多湿ですが1日の平均気温は意外に21℃～33℃と想像ほど高くありません。雨量は多く、温暖多雨多湿のため、全土の65%が熱帯雨林、そこには世界でも珍しい動植物が生息する豊かな大自然と近代的な都市が混在する世界でも珍しい国です。

ここコタキナバルには豪華で快適な高級リゾートホテルがビーチサイドに点在、世界有数のダイビングスポットや多彩なエコツアー基地として、多くの観光客が訪れる町です。

### JCTIC

私がここ JCTIC に来るようになって6年、毎年3カ月から2カ月参加しています。

JCTIC は約11年前に設立された日本語の私塾です。私達の先輩が、安価な授業料で MA の人が誰でも学べる日本語教室を作りたいと、KK 在住で旅行代理店をしていた日本の方と相談、WSC の有志がボランティアで教えに来ることで始められた教室です。

Japan Culture & Travel Information Center の頭文字をとって名付けられました。当初は旅行代理店



授業風景

と一緒にいましたが、現在は形態も変わり、独立した日本語教室です。現地在住の日本人と WSC のメンバーが教えています。この間、

日本語スピーチコンテスト MA 地区大会で優勝し、日本での世界大会に出場した学習者が4人。昨年の日本語能力検定試験では2級合格者も出ており、その評価は高く、KK の日本総領事が活躍ぶりを見学に来たこともあります。

JCTIC のホームページ <http://www.jctic.com>

### 授業

1 コマ 90 分の授業で、中心は月～金の夜、①5時50分～7時20分。②7時30分～9時です。そのほか平日の昼間2時からや土曜日2時から2時間のクラスもあり、学習者のニーズに合わせてクラスを作っています。私達 WSC は平日夜間のクラスを受け持っています。月・水・金の週3回クラスと火・木の週2回のクラスがあり、1クラスは4～5人と少人数、個人レッスンもあります。

教科書は、日本語教育で最もポピュラーな「みんなの日本語」を使用しています。初級編 I と II の 50 課を8段階に分け、90分×24回=述べ36時間×8回で構成されています。

①のイントロ (入門クラス)「あいうえお」から始まり4課までが1段階目。②のビギナー I は5課から11課までで……⑧アドバンス 3 が45課から50課まで、ここまでが初級。以降中級のクラスの編制になっています。従って初級が終了するのに1年以上かかります。初級「みんなの日本語」1課を90分×3回強の割合で消化していきます。

教科書「みんなの日本語」が多く使われている理由と思われることは、補助教材の多さです。「本札」? 「英語版」「教え方」これが三点セット、「教え方」は教案になっていますので、これに沿って教えていけばよいように作られており、未経験の方でも教えることができるでしょう。さらに補助教材は多彩、進出語彙導入には絵カード、イラスト。各課に沿った練習帳、聴解、読解、作文、漢字練習帳等がありますので、大変便利な教科書です。

学習者は学生から社会人、主婦まで幅広い段階の人達で、その学習の動機もさまざまです。旅行代理店勤務の人は仕事に役立てたいと、学生の中には将来日本への留学を希望している人もいます。多くの学習者はアニメや日本の歌、TV ドラマなどに接していて、良く日本のことを知っているし、ヤングゼネレーションの人気者のことや、アニメのことを聞かれ、年代的に何も知らない私は戸惑うことがしばしばあります。

### 担当クラス

今回私が担当したクラスは3つです。

#### ① プライベートクラス

中級 月曜日・3時から5時まで、週1回

学習者は仕事が週1回月のみ休みのため個人レッスン。将来日本の専門学校でメイクアップの勉強をしたいとの希望。日本語のレベルは高く、日本語能力検定試験3級の実力はありそう、まだ試験を受けたことが

ないので今年は2級を受けることを勧め、それに即した授業内容にしました。中級以上は特に指定された教科書はないので、聴解、読解、文法に分け、「中級からの日本語」「毎日の聞き取り」等の教材を使い授業をしました。日本の雑誌、TV ドラマ、アニメや歌が好きなので、ここから日本語を吸収し上達しているため、試験問題の文法などは不得意なようでした。

## ② インターミディエイトI

月・水・金 7時30分～9時

「みんなの日本語」19課～25課まで

学生2名、社会人2名、主婦1名で中国系4人、マレー系1人の5人のクラス。MAはマレー60%、中国系30%、インド系10%の多民族国家（ボルネオ島は他の地区より、インド系は少ない）。JCTICの学習者は中国系が多く、彼等は漢字がわかるし書けます。しかし他の人は全く漢字がわかりません。日本では漢字を教えるのが普通なのですが、ここでは教えることはほとんどないので、マレー系の人には教えないと書けないのが現状。このクラスでも1人だけに漢字の書き方の練習はできず、この矛盾は解決しないまま授業を進めてしまいました。日本語教育で中国系が優位なのはどこでも同じですが。

## ③ ビギナーII

火・木 5時50分～7時20分

「みんなの日本語」12課から18課

社会人4名のクラス、医者・投資会社勤務等ここでも珍しい職種のクラスでした。1人はサンフランシスコの大学で7年間勉強してきたという人もいて、レベルの高い学習者なので理解度は早く、初級の教科書の中でも一番難しく、教えるのも楽しい14課（ここで初めて動詞の変化が出てくる）もすぐに理解してくれて教えて嬉しいクラスでした。ただし、ここではよくあることなのですが、1人だけ、勤務の都合でどうしても6時半ごろにならないと来ることができない人がいました。毎回後半だけ授業に参加するのですから、当然他の学習者とは、レベルの開きは大きくなります。どこのクラスでも学習者にレベルの差がつくのは普通ですが、この場合特におくれが大きく対応に苦慮しました。ただし、いつも驚かされますが、同じクラスでわからない人がいると、必ず他の学習者が教えたりして助けてあげます。これは日本人にはわからない文化なのかもしれません。

かつて、ある先生は学習者が彼らの共通語で、このこと（お互いわからない場合は教え合います）を勘違いして、授業中に私語はやめるように…と学習者を注意したことがありました。その時、後から私語ではな

いと、先生の教えていることがわからない人に、わかった人が共通語で解説して教えているのです・・・と。これも異文化体験の一つでしょう。

## KKでの暮らし

宿舎マリーナコートは市内の中心にあるコンドミニアム、ウォーターフロントに位置し、近くには大型のショッピングセンターが多数あります。むろんカフェやレストランも多彩。夕刻から開く青空市場もすぐそばに、ここでは新鮮な果実、野菜、魚等が山積みになって売っています。特に南国の果実は多彩で絶品、しかも、MAの物価は日本の三分の一程度、安くて美味しい果実が私の朝食です。

宿舎は3部屋独立しており、バス・トイレも2カ所、リビング、台所は共同使用ですが、炊事用具、電子レンジ、食器類



新鮮な野菜や果物が並ぶ市場

などはすべてそろっており、自炊希望の方も何不自由なく暮らせます。洗濯機も完備。市内の中心地にありますので、車の往来も多く、郊外のような静けさは求められませんが、各部屋は防音のために窓を二重にしています。掃除は毎週専門の「アマさん」が来てくれますので、いつも部屋は清潔です。



宿舎マリーナコート

宿舎からJCTICまでは至近距離、ベランダに出ると教室のあるビル「アジアシティ」が目に見え、通学にも便利な場所です。

コンドミニアムのオーナー、氏原さん、ティナさんとはとても親切に気を配ってくれます。食事に誘ってくれたり、空港の送迎も深夜にKKに到着しても迎えにきてくれます。困った時は何でも相談に乗ってくれます。氏原さんはJCTICのアドバイザーをしていますので、この事情も良くわかっていて安心して相談できます。

日本から避寒、避暑を目的にKKでロングステイする人も多く見かけます。週末はここから近くの島へ行ったり、リパークルーズで天狗猿や、幻想的なホテルの大群を見るツアー等エクスカッションも多彩で、JCTICで学習者と接すれば真の異文化体験、異文化交流になりますし、単なる海外ロングステイとは違った体験を楽しむことができました。